

[令和5年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	骨粗しょう症予防検診				事業番号	011-179
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現	
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
2	関連計画			さかい健康プラン				
3	事業開始年度			平成 6 年度		点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			健康増進法、堺市骨粗しょう症予防検診事業の実施に関する要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区（保健センター）		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	18歳以上の堺市民	対象数 約700,000	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	骨密度が低下すると些細なことで骨折することが多くなり、治療で寝たきりの状態になることが多い。 骨密度は20歳前後を境に低下していくため、若い世代（18歳時）より現状の骨密度を適切に把握し、健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・各保健センターにおいて2か月に1回程度の検診日を設定し、市民が申し込みを行い骨密度の測定を実施。 ・検診結果に応じて保健師又は管理栄養士がその場で指導を行う。 ・自己負担金640円（市民税非課税世帯・生活保護世帯等の方は事前に保健センターへ申請すれば無料）。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11	受診者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	760	785		
			達成率	76%	79%		
	当該指標を選定した理由		骨密度を適切に把握し、健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		令和元年度実績を基準とし、受診者数増加を目標とする。(延べ人数)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				42	42	42	
	骨粗しょう症予防検診の実施回数	回	目標値	41	42		
			実績値	98%	100%		
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		保健センターにおいて、2か月に1回の検診実施を目標とする。					

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	骨粗しょう症予防検診	事業番号	011-179
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,598	1,143	1,370	1,068	3,252
財源	国支出金	100	158	161	169	169
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（ ）			0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	1,498	985	1,209	899	3,083
14	人件費（b）	2,960	2,960	2,950	2,950	2,930
15	年間経費（c）=（a）+（b）	4,558	4,103	4,320	4,018	6,182

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	報酬	決算	0	0			決算			
		予算	22	22			予算			
	消耗品費	決算	186	186			決算			
		予算	340	340			予算			
	印刷製本費	決算	17	17			決算			
		予算	37	37			予算			
	委託料	決算	832	663			決算			
		予算	0	0			予算			
	その他使用料及び賃借料	決算	33	33			決算			
		予算	2,853	2,684			予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和4年度	令和5年度
	①	受診者数	人	760	785
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,103	4,018
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	5,399	5,119
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	各種感染症の感染対策を行った上で、通年検診を実施した。 R3年度以降、受診者数は増加傾向であり、市民の骨粗しょう症に対する関心が高まっている。 R5年度は前年度と比較して受診者数が増加し、単位当たり経費は前年度より減少しており、効率的に事業に取り組むことができたと評価する。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	検診体制を整備し、各区で通年検診を実施できている。 検診時には、骨密度測定の結果を踏まえ、保健師又は管理栄養士などの専門職が生活習慣等に関する健康相談や生活指導を行っている。市民が自身の骨密度の現状を把握し、必要な指導や治療を受けられる環境を確保することによって、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」に寄与している。
----	--